

人権推進共同参画課だより (17)

「いのち」輝くまちに

人権文化の定着した職場づくり

「人権文化の定着した職場」とはどのような職場でしょうか。私達はどのようなことに気をつけなければならないのでしょうか。

- ①「おはようございます」「ありがとうございました」など、さわやかなあいさつや感謝の言葉が職場内で聞こえていますか。
- ②「女性だから」という理由だけで偏見を持ち、特別視したり、不利益な取り扱いをしたりしていませんか。
- ③相手の心を傷つけたり、不快感を感じさせたりするような性的な言動をしていませんか。職場で異性に気軽に接する前に「セクハラ」の点検をしていますか。
- ④子育てや、子どもの問題を男女が等しく担っていくという意識がありますか。また職場でバックアップしようという意識がありますか。
- ⑤年齢に関係なく、相手への尊敬の念を持ち、協力し合っていますか。
- ⑥障害のある人が気持ちよく働ける環境は、施設・設備に加えて「共に働く」心配りにあります。お互いに相手から学ぶ姿勢をもって接していますか。
- ⑦職務権限を利用して周囲の人に圧力をかけたり、強制したりしていませんか。
- ⑧事実を確かめることなく、うわさなどから先入観を持って、人を判断していませんか。
- ⑨雇用形態や業種、学歴や出身国(地)、言語、宗教、習慣などで人を判断していませんか。

以上のように、人権の視点から職場での自己を見つめなおすこと、また、一人ひとりが活躍し、働く喜びや人生の充実感を得られる環境をどうつくっていくか考えることが大切です。

人にやさしい職場環境こそ、職場の新しいエネルギーを生み出し、未来を開いていくのではないのでしょうか。

(兵庫県人権啓発協会発行「人権文化をすすめるために」から)

このコーナーは、人権文化のあふれるまちづくりのため、「いのち」輝くまちづくりのため、市民の皆さんに問題提起や資料提供をします。

ご愛読いただき、家庭や街角の話題にしていただければ幸いです。

◆人権推進共同参画課 TEL 672 - 6122

『第32回近隣地域親善球技大会が開催されました。』

9月3日(日)和田山体育センターにおいて近隣地域親善球技大会(ソフトバレーボール大会)が行われました。

この大会は、桑原区・市御堂区・比治区・法興寺区・立ノ原区・枚田岡区・玉置区の親善交流を目的とした大会であり、約100名の参加がありました。

和気あいあいと試合が進められ、各区内はもとより、近隣地区との交流が深められました。

試合結果は、次のとおりです。

女子の部	男子の部
優勝 玉置区	優勝 枚田岡区
準優勝 枚田岡区	準優勝 比治区
3位 市御堂区	3位 玉置区
法興寺区	法興寺区



『人権講演会「夫のかわりはおりまへん」』

9月16日(土)生野メインホールで、江村利雄さん(前高槻市長)による人権講演会が開催され、約200の方が聴講されました。

江村さんは、平成11年4月に市長の任期を1年残り、「市長の代わりはおっても、夫の代わりはおりまへん」と、妻の介護を理由に辞任され、当時大きな話題となりました。

講演では、自らの介護体験から「相手に目線と波長を合わせて、プライドを傷つけない」ように接することの大切さ、冗談を言いながら介護する「笑いの介護」の重要性、「男性の自立」の必要性などを、大阪弁でユーモアを交えながら話されました。会場は笑いとともに大きくうなずき、共感されている姿が多く見られました。

